

Sports Fukushima

スポーツふくしま

34
2015.12

(公財)福島県体育協会 〒960-8065 福島市杉妻町5番75号 福島県庁東分庁舎3号館
TEL 024-521-7896 FAX 024-521-7971



Let's play sports together!

みんなですぽーつを!



巻頭言

会長就任にあたって

1) 選ばれたこと

平成27年6月15日県体育協会理事会にて会長に選任されました。

名誉会長である内堀雅雄知事、顧問の宗形守敏前会長のもと、片平俊夫副会長、佐藤金正副会長、佐藤祀男副会長をはじめ副会長、理事の方々そして各委員会、地域連合や競技団体の方々、事務局と共に本県のスポーツの未来の活躍を夢見て心を一つにして前進して行く覚悟です。

2) アメリカの生活

35才の時、縁あって妻、子ども達を連れ米国のTennessee Stateの首都NashvilleのFirst American Bankに研修生として受け入れてもらいました。

一年目は実践で全ての部課を次々と廻り、あつと言う間に過ぎました。南部なまりの言葉が通じないのに苦労しました。全米100位の規模と設備、考え方、行動力の違いは驚くばかりでした。Nashvilleは人口100万人、カントリーウェスタンの聖地です。

ラケット一本を抱え街に出て一番大きなテニスクラブを訪れ、練習相手を探すとすぐにパートナーが見つかりました。その友人に連れられ、にわかバプテストとなって毎週教会に出かけ家族同士の付き合いも始まりました。誰に聴いても日本人と会うのは初めてだと言われ続けました。

銀行、教会、子どもの学校、妻の琴とそれぞれの友人ができ、充実した3年間でした。日産自動車のグランドブレイキングやマキュラドーレなどを目の当たりにしました。この間、全米を訪れ広い国豊かな国を体験しました。

3) インターンシップの受入れ

アメリカ人のMBA学生7名を7年間にわたり企業

として受入れました。帰国後4人は弁護士となりました。4人は日本人と結婚しました。

4) ふくしま国体、その後の20年

平成7年、県よりの援助、企業の支援のもと天皇杯皇后杯を獲得。10年後の平成17年には21位で今年は31位。選手の頑張りで昨年よりも順位は上がっていますが、何とも厳しい強化予算であり、今後選手が力を発揮していくためには、企業の力をお借りし、選手発掘・育成・強化の方法を工夫していかなければなりません。

5) 誰もが自分に合ったスポーツを

世代を越え、体力を問わず誰もがスポーツに親しみ、自らを向上させていくことが望まれる時代です。東日本大震災と東京電力第一原発事故発生後、本県の子どもの発育や発達に世界の注目が集っています。

障がいを持った方や健常者がともにスポーツに親しみ、幼児から高齢者まで体力の全国平均を越すレベルまで向上させ、福島県の復興の証としなければなりません。

6) 世界基準へ

2020年のオリンピック・パラリンピックでは、世界の基準で見て評価される福島県人だと言われるよう、これからの5年が我々にとって大事な時間です。本県からも一人でも多くの日本代表選手を輩出し、県の力、企業の力、体育協会の力を世界に示す絶好の機会だと思います。

関係者各位の力を結集して頂くことをお願い申し上げます。



公益財団法人福島県体育協会
会長 須佐 喜夫



- 1 巻頭言
- 2 第70回 国民体育大会成績
第70回 国体本大会競技別成績と活躍選手の寄稿
- 8 親子体操教室
スポーツ指導者研修会
インフォメーション
- 9 ふくしまから世界へ!
「ふくしま夢アスリート」育成支援事業

- 11 スポーツ医事・トレーニング相談事業の様子
平成27年度(公財)福島県体育協会認定
アスレティックトレーナースキルアップ講習会
- 12 うつくしま広域スポーツセンター事業の様子
平成27年度うつくしま総合型スポーツクラブユニオン自主事業研修会・交流事業
- 13 みんなでつくろう総合型!
総合型地域スポーツクラブ!
- 14 県体協賛助会員名簿・賛助会員加入のお願い
編集後記

【表紙写真説明】

第70回国民体育大会(写真提供:福島民友新聞社)

●自転車(小玉和寿選手) 左上
●陸上(渡辺真弓選手) 左下

●バドミントン福島県チーム 右上
●馬術(吉田学人選手) 右下

第70回 国民体育大会成績

1 参加状況

大会	区分	会期	開催地	団 長	参 加 競技数	派遣人数			
						役員	監督	選手	合計
冬季大会	スケート アイスホッケー競技会	H27. 1/28(水)～2/1(日)	群馬 前橋 高崎	佐藤 英壽	2	11	5	33	49
	スキー競技会	H27. 2/20(金)～2/23(月)	群馬 馬 品 村	渡部 孝美	1	9	10	45	64
本大会	大会	H27. 9/26(土)～10/6(火)	和歌山 和歌山 他	須佐 喜夫	33	18	61	339	418
		(バスケットボール競技:9/22(火)～26(土))							
		(会期前競技:9/6(日)～13(日))							

2 競技成績

大会	区分	天 皇 杯				皇 后 杯			
		競技得点	参加得点	得点合計	順 位	競技得点	参加得点	得点合計	順 位
スケート競技会		13点	10点	23.0点	20位	6点	10点	16点	18位
アイスホッケー競技会		0点	10点	10.0点	13位	—	—	—	—
スキー競技会		6点	10点	16.0点	18位	5点	10点	15点	14位
本大会		447点	370点	817.0点	30位	129.5点	270点	399.5点	36位
合 計		466点	400点	866点	31位	140.5点	290点	430.5点	35位

第70回 国体本大会競技別成績と活躍選手の寄稿

二人で掴んだ日本一

陸上競技 学校法人石川高等学校 3年 田母神 一喜

「二人で日本一を取る」このことが今回の和歌山国体に挑むにあたっての私の目標でした。なぜ二人なのか、それは私が日本一へとなるまでは彼の存在がなくては達成する事ができなかったからです。

私の一つ下の後輩である遠藤日向、彼は中学時代から二度の日本一に輝き、現在でも高校長距離のトップの選手です。彼と私は中学の時から交流があり、彼はいつも自分に大きな刺激を与えてくれる存在でした。そんな彼が私と同じ学石陸上部に入学してからは、後輩の活躍に私も負けてられないと火がつき、互いに切磋琢磨し、県でも勝てなかった私が全国大会に出場できるようになりました。しかし、出場した全国大会では全く自分の力は通用せず、全国の壁というものを痛感しました。それからは「来年は絶対に結果を残す」と強い思いで練習をしました。

そうして高校最後の年として今シーズン、日向と二人で日本代表として世界大会に出場し二人で入賞する事ができ、夏のインターハイでは1500mにおいて優勝できました。しかし、本職の800mにおいては3位という悔しい結果に終わり、日向においては日本人トップながらケニア人留学生には及ばず、3位と二人で優勝する事は出来ませんでした。この悔しさから夏合宿に臨み、国体では絶対に二人で優勝しようと目標を定めました。そして迎えた和歌山国体決勝、インターハイのリベンジを果たすと強い気持ちで自分の力を出し切る事ができ、目標であった優勝を勝ち取る事ができました。翌日には、日向がケニア人留学生に日本人でただ一人ついていき、ラストで交わして優勝、レース後に二人で喜んで抱き合ったのは最高の瞬間でした。

「彼が頑張れば私も頑張れる。私が頑張れば彼も頑張れる。」という関係だからこそ大きな目標を達成できたと思っています。ただ、これで終わりではありません。今回の結果に満足せずこれからも二人で世界を見据え、戦っていきます。





国分香奈選手



遠藤日向選手

●水泳競技 競技得点 22点 天皇杯 24位 皇后杯 22位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年男子	A100m自由形	3	6	服部 翼	福島成蹊高等学校 3年
少年男子	A200mバタフライ	3	6	寺田 拓未	湯本高等学校 3年
少年女子	A100m自由形	6	3	国分 香奈	日大東北高等学校 2年
少年女子	A50m自由形	2	7	国分 香奈	日大東北高等学校 2年

●陸上競技 競技得点 61.5点 天皇杯 12位 皇后杯 19位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年女子	100m	6	3	渡辺 真弓	東邦銀行
	400m	3	6	千葉 麻美	東邦銀行
	ハンマー投	8	1	佐藤 若菜	東邦銀行
少年男子	100m H	6	3	安部 遥香	福島大学 3年
	A100m	3	6	山下 潤	福島高等学校 3年
少年女子	A5000m	1	8	遠藤 日向	学法石川高等学校 2年
	A400mH	7	2	岩崎 崇文	郡山東高等学校 3年
	A棒高跳	5	4	佐藤 啓太	福島成蹊高等学校 3年
	B110m H	6	3	高橋 直生	福島第一中学校 3年
	B走幅跳	5	4	須藤 悠太	郡山東高等学校 1年
	B砲丸投	2	7	佐藤 皓人	日大東北高等学校 1年
	共通800m	1	8	田母神 一喜	学法石川高等学校 3年
	共通走高跳	7	1.5	木村 利紀弥	平工業高等学校 3年
	共通砲丸投	4	5	秋山 尚子	相馬東高等学校 3年

和歌山国体までの強化を振り返って

福島県銃剣道連盟 理事長 佐藤 亨

今年行われました第70回わかやま国体銃剣道競技では、監督、選手がよく健闘しすばらしい成績を上げることができました。これは、福島県体育協会専務理事をはじめ、銃剣道担当の松崎さん及び福島県体育協会の皆様のご指導とご支援をいただいたお蔭であります。皆様に御礼申し上げます。

この成績を残すまでは、少年、成年共に幾多の試練がありました。

少年については、須賀川高校がリードをしてきましたが、平成16年に顧問の体調不良による学校退職、その2年後には須賀川高校銃剣道部の廃部、そして、平成18年度の東北総体少年ブロック予選会には、高校剣士の発掘のできないまま無念の不出場となりました。そこで平成16年青少年銃剣道剣士の減少を肌で感じ、なんとか我々の手で少年育成を強く思い、福島市にスポーツ少年団を立ち上げました。いろいろ苦労はありましたが、ここまで選手を導いていただいた監督の館石先生、そして、その指導に素直に従い、国体の試合1戦1戦ごとに強くなった選手たちに大きな拍手を送りたいと思います。

成年については、常勝福島県として全国に名を残していましたが、近年では3回戦を突破できないことが多く、いろいろと施策を重ねてきました。その中で、全国の強豪チームと試合稽古をしたり、九州地区へ年2回県外遠征をしたりという取り組みが選手の自信につながり今回の結果につながったのだと思います。

国体の銃剣道競技は、今年から隔年開催となりました。そのため来年の岩手国体での銃剣道競技がありません。そのため来年をどのように強化していくかが、平成29年愛媛国体で大きな成果が残せるかにかかっていると思います。

今後も福島県体育協会専務理事をはじめ、皆様のご指導、ご支援、ご援助のほど、よろしくお願いいたします。

種別	結果	備考
少年	3位入賞	平成12年富山国体以来
成年	7位入賞	平成18年兵庫国体以来
総合	2位入賞	平成17年岡山国体以来



●ボート競技 競技得点 1点 天皇杯 32位 皇后杯 27位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年男子	シングルスカル	8	1	石塚 慎之助	田村高等学校 2年



石塚慎之助選手

●ボクシング競技 競技得点 2.5点 天皇杯 26位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年男子	ピン級	5	2.5	高橋 一誠	福島明成高等学校 2年



前田翔吾選手

●レスリング競技 競技得点 21点 天皇杯 26位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	グレコローマンスタイル85kg級	5	2.5	渡部 広章	男山酒造
	グレコローマンスタイル98kg級	5	2.5	角田 友紀	JA会津いで喜多方グリーンセンター
少年男子	フリースタイル65kg級	1	8	前田 翔吾	クリナップ(株)
	フリースタイル120kg級	5	2.5	壽松木 勇貴	喜多方桐桜高等学校 2年
	グレコローマンスタイル66kg級	3	5.5	湯 浅 悠人	田島高等学校 3年



吉田真弘選手

●ウェイトリフティング競技 競技得点 66点 天皇杯 4位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	53kg級スナッチ	3	6	吉田 真弘	デイスービスいしかわ
	53kg級C&J	1	8	吉田 真弘	デイスービスいしかわ
	69kg級スナッチ	6	3	近内 三孝	日本大学 2年
	69kg級C&J	6	3	近内 三孝	日本大学 2年
	105kg級スナッチ	8	1	小湊 和輝	江信特殊硝子(株)
	105kg級超級スナッチ	7	2	菅野 真央	早稲田大学 4年
少年男子	56kg級スナッチ	3	6	後藤 潤也	福島明成高等学校 3年
	56kg級C&J	2	7	後藤 潤也	福島明成高等学校 3年
	77kg級スナッチ	2	7	穴戸 大輔	福島工業高等学校 2年
	77kg級C&J	2	7	穴戸 大輔	福島工業高等学校 2年
	94kg級スナッチ	3	6	青木 智也	田村高等学校 3年
	94kg級C&J	1	8	青木 智也	田村高等学校 3年

第70回紀の国わかやま国体バトミントン競技総合優勝を獲得して

福島県バトミントン協会 会長 永井 祥一

待望の総合優勝を平成7年開催した「ふくしま国体」以来20年ぶりに果たすことができました。

この偉業は「復興福島」の県民に大きな励みになったことと思います。少年男子の大堀均監督(富岡高教員)渡辺勇大・三橋健也・山澤直貴選手(富岡高)、少年女子の本多裕樹監督(富岡高教員)川上紗恵奈・仁平菜月(富岡高)・高橋明日香選手(ふたば未来学園高)、成年男子の二瓶良監督(帝京安積高教員)内藤浩司(日立情報通信)・齋藤太一(早稲田大)・松居圭一郎(日本体育大)選手、成年女子の大堀麻紀監督(県協会)大堀彩(NTT東日本)・早田紗希(ヨネックス)・東野有紗(日本ユニシス)選手全員の粘り強い勝負で相手を圧倒し総合優勝することができました。特に、大堀均先生の抜群の指導力、統率力には頭が下がります。多くの選手は東日本大震災及び東電原発の事故により富岡町を離れ、猪苗代町に避難せざるを得ない環境にもめげず厳しい練習に励み、精神的にも、プレーでも素晴らしい力を身につけ発揮してくれました。地域住民の皆様ご支援ありがとうございます。応援もすばらしかったです。本県バトミントン関係者の日頃からの声援と保護者の方々、県体育協会の方々の力強いご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

授与された男女総合優勝の「国民体育大会会長トロフィー」をこれからも末長く福島の地に置きたいと強く思いました。

また、若さ溢れる感動的なプレーを披露してくださった選手の皆さんは、オリンピック出場を目指し更に精進され実現されるよう念じております。念願である「福島県からオリンピック選手」が実現すると確信しました。感動をありがとう！





小玉和寿選手



工藤豪人選手



杉本瑞生選手



フェンシング 少年男子



旗手 志賀選手



記念品贈呈

●自転車競技 競技得点 11点 天皇杯 19位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	スプリント	8	1	牧田賢也	福島県自転車競技連盟
少年男子	個人ロード・レース	1	8	渡邊祐希	学法石川高等学校 3年
	ポイント・レース	7	2	小玉和寿	学法石川高等学校 3年

●ソフトテニス競技 競技得点 30点 天皇杯 10位 皇后杯 7位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年女子		3	30	小谷菜津美	住友ゴム工業(株)
				大槻麗	住友ゴム工業(株)
				原野亜衣	住友ゴム工業(株)
				米山芽玖	住友ゴム工業(株)
				大槻桜	住友ゴム工業(株)

●軟式野球競技 競技得点 16点 天皇杯 7位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子		7	16	及川俊也	(株)タンガロイ
				白石卓也	(株)タンガロイ
				蛭田稔真	(株)タンガロイ
				梶原宏孝	(株)タンガロイ
				竹沢大貴	(株)タンガロイ
				古川哲也	(株)タンガロイ
				古内康	(株)タンガロイ
				目黒将司	(株)タンガロイ
				宜志富凌馬	(株)タンガロイ
				荻野翔太	(株)タンガロイ
				川崎智洋	(株)タンガロイ
				四家祐雅	(株)タンガロイ
				酒井剛史	(株)タンガロイ
				田子弘樹	アルパイン技研(株)
柏村雄二	日本工機(株)				

●相撲競技 競技得点 7.5点 天皇杯 12位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	団体	5	7.5	大波渥	東洋大学 3年
				斎藤健	東邦銀行
				工藤豪人	日大東北高等学校教員

●馬術競技 競技得点 21点 天皇杯 15位 皇后杯 27位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	トップスコア	1	8	吉田学人	成田乗馬クラブ
	標準障害飛越	1	8	吉田学人	成田乗馬クラブ
少年	標準障害飛越	7	2	杉本瑞生	御殿場西高等学校 1年
	トップスコア	6	3	杉本瑞生	御殿場西高等学校 1年

●フェンシング競技 競技得点 6点 天皇杯 22位 皇后杯 17位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	フルーレ	8	3	田代大幸	佐藤商事株式会社 福島支店
				今野勝	川俣ホーム
				菅野慶嗣	(株)JIEC
少年男子	フルーレ	8	3	高橋恋	川俣高等学校 3年
				佐藤真春	川俣高等学校 3年
				廣瀬新	福島高等学校 2年



ソフトテニス 成年女子



軟式野球 成年男子

●ソフトボール競技 競技得点 20点 天皇杯 16位 皇后杯 14位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年男子		5	20	花見大介	須賀川高等学校 3年
				佐藤優樹	須賀川高等学校 3年
				遠藤篤志	須賀川高等学校 3年
				竹島宗希	須賀川高等学校 2年
				藤島尚樹	須賀川高等学校 2年
				岡部樹滉	須賀川高等学校 2年
				五十嵐康人	郡山北工業高等学校 3年
				重川葵	郡山北工業高等学校 3年
				佐藤右京	郡山北工業高等学校 3年
				渡邊智範	郡山北工業高等学校 3年
				伊藤大樹	郡山北工業高等学校 2年
渡邊航生	郡山北工業高等学校 2年				
須賀祐一	安積黎明高等学校 2年				



ソフトボール 少年男子

●バドミントン競技 競技得点 70.5点 天皇杯 1位 皇后杯 3位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子		1	24	齋藤太一	早稲田大学 4年
				松居圭一郎	日本体育大学 3年
				内藤浩司	(株)日立情報通信エンジニアリング
成年女子		4	15	大堀彩	NTT東日本(株)
				早田紗希	ヨネックス(株)
				東野有紗	日本ユニシス(株)
少年男子		1	24	渡辺勇大	富岡高等学校 3年
				三橋健也	富岡高等学校 3年
				山澤直貴	富岡高等学校 2年
少年女子		5	7.5	川上紗恵奈	富岡高等学校 3年
				仁平菜月	富岡高等学校 2年
				高橋明日香	ふたば未来学園高等学校 1年



バドミントン 少年男子



小久保南海選手 鈴木康大選手

●カヌー競技 競技得点 25点 天皇杯 19位 皇后杯 14位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	カヤックシングル500m	2	7	鈴木康大	(株)久野製作所
成年男子	カヤックシングル200m	4	5	鈴木康大	(株)久野製作所
少年女子	カヤックシングル500m	2	7	小久保南海	安達高等学校 3年
少年女子	カヤックシングル200m	3	6	小久保南海	安達高等学校 3年



銃剣道 少年

●銃剣道競技 競技得点 24点 天皇杯 2位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子		7	6	齋藤慎一	第44普通科連隊
				菅野学	第44普通科連隊
				秋元陽樹	第44普通科連隊
少年男子		3	18	渡邊峻	福島工業高等学校 1年
				佐藤凌	福島南高等学校 2年
				淺田忠治	福島高等学校 2年



なぎなた 少年女子

●なぎなた競技 競技得点 15点 天皇杯 11位 皇后杯 11位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年女子	演技	4	15	佐藤里咲	会津若松ザベリオ学園高等学校 3年
				大井川滯	会津若松ザベリオ学園高等学校 2年
				目黒百花	会津若松ザベリオ学園高等学校 2年

●ボウリング競技 競技得点 27点 天皇杯 11位 皇后杯 10位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	団体戦(2人)	7	6	伊藤丈	(株)東北装美
				遠藤邦夫	インテリア・エンドー
成年女子	団体戦(2人)	2	21	大河内未来	郡山女子大学 1年
				鈴木英子	日立オートモティブシステムズ(株)



ボウリング 成年女子団体

競技を楽しむ

ウエイトリフティング競技 田村高等学校 青木 智也

私は第70回国民体育大会(和歌山国体)ウエイトリフティング競技において、少年の部94kg級に出場し、最大の目標であった総合優勝をすることができました。

本大会は8月に行われた近畿インターハイに続き全国大会連覇のかかった試合でした。福島県で応援してくださっている地域の方々、県ウエイトリフティング協会の方々、和歌山県に応援に来てくれる両親のためにも負けることのできない試合でもありました。さらに、福島県のためにも全種目で優勝を勝ち取ることを目標に練習に励んできました。しかし、私は肩の怪我をかかえており直前の合宿に参加しても失敗の繰り返しで、とても不安な状態で大会当日を迎えました。大会会場へ出発するときホテルのロビーで、顧問の鈴木先生から「競技を楽しむ」という言葉をいただきました。私は緊張やプレッシャーにより競技を楽しむことを忘れていたことに気がつきました。その言葉で気持ちを切り替えることができ高校生活の最後となる試合が始まりました。試合結果はスナッチが第3位、C&J第1位、総合トータル優勝という結果でした。自分の体調や相手に合わせての試合運びになりインターハイより低い記録とスナッチを1回失敗してしまい3位になってしまったことが心残りではありますが、十分に楽しく試合をすることができました。

私がこの競技と出会ったのは高校入学してからです。ウエイトリフティングを知らない私に顧問の鈴木先生は一から教えてくださり、私の人生にとっても大きな影響を与えてくださいました。私が全国の頂点に立つことができたのも先生が私に感謝や仲間との協力、そして努力することの大切さを教えてくださったからだと思います。また、県ウエイトリフティング協会、県体育協会の皆様が私をいつもサポートしていただき人間としても大きく成長することができたと思います。

今後は大学へ進学し、更に高い目標を持って努力していきたいと考えています。

県民の皆様、ご声援ありがとうございました。



もがき苦しみ掴んだ優勝

自転車競技 学校法人石川高等学校 3年 渡邊 祐希

私は学法石川高校自転車競技部に所属し、自転車競技に打ち込んできました。その中で色々な苦難がありました。2年次の全日本ロードレースでは、レース開始間もなく落車し、途中棄権。同じく2年次の3月に行われた全国選抜大会ではトラック競技のスクラッチで2位に入賞するも、最終日に行われたロードレースではハンガーノックにより完走者37名の中の最下位。その後も練習中の落車や体調不良などで思うような練習が出来ない日が続きました。6月の東北大会になっても調子が上がらず、優勝を狙っていたトラック種目のスクラッチで5位。8月の全国高校総体においても同級生二人が優勝する中、私は決勝に進むこともできませんでした。ロードレースにおいても60km走ったところで落車してしまいました。とても悔しかったですが、この時、国体選手に選ばれたなら優勝するぞと強く思いました。その後、今までの失敗はすべて自分に原因があると考え、一つ一つの原因を整理し、補給を含めたレース分析、自分自身に足りないところを補うトレーニングを行いました。特にトレーニングにおいては、安定した走りができるように上半身の強化に力を入れました。そして、万全の状態を臨んだ高校生活最後の国民体育大会少年個人ロードレースで私は優勝を掴み取りました。本当にうれしくてゴール後に補給所にいた顧問の先生に電話した時には、涙が止まりませんでした。学法石川OBである和歌山県の窪木一茂選手とダブル優勝できたこの和歌山国体は一生の思い出となりました。

こうして私が国体で優勝できたのも、今まで支えてくださった学校や福島県の先生方、チームメイト、家族、そして公道練習を温かく見守って下さった県民の皆様のおかげであると深く感謝しています。今後は大学に進学し、さらに高いレベルで競技を続けていきます。自分で決めた目標を達成できるように、今後も走り続けていきたいと思っています。





生涯スポーツキャンペーン2015
親子体操教室



福島県体育協会主催の生涯スポーツキャンペーン「親子体操教室」は今年で9回目の開催となりました。8月30日(日)に会津若松市教育委員会、一般財団法人会津若松市公園緑地協会の共催により、あいづ総合体育館にて行われました。

講師には、NHKおかあさんといっしょ第10代目体操のお兄さんであった佐藤弘道さんをお迎えしました。

あいにくの雨という悪天候の中ではありませんでしたが、会津若松市を中心に3～6歳の未就学児とその家族、約500名に近い参加がありました。参加者は音楽やひろみちお兄さんのかけ声に合わせて、体いっぱい使いながら笑顔の中、楽しい親子の時間を過ごすことができました。また、ひろみちお兄さんから「10分、5分、1分でもいいので、毎日子どもとふれ合う時間を作ってほしい。」「携帯を見る時間があれば、子どもを見る時間にあててほしい。」など、お父さん、お母さんへメッセージも送られました。体操の内容やメッセージから、生活の中で親子の「体」そして「心」とふれあうことの大切さを改めて学ぶことができました。終了後は、みなさん笑顔の中、会場を後にしました。

今年も郡山市の八山田保育園の先生方やルーターズの方々のご協力を得ることができ、運営を支えていただきました。ありがとうございました。

平成27年度 第1回福島県スポーツ指導者研修会 県中ブロック研修会

スポーツ指導方法「暴力・反倫理的行為の根絶をめざして」
～自発性・潜在能力を引き出すための指導方法 理論・実践～

福島県スポーツ指導者協議会では、日本体育協会公認スポーツ指導者の義務研修会として年3回のスポーツ指導者研修会を実施しています。今年度1回目の研修会は、10月18日(日)に小野町の小野町公民館にて開催しました。

まず大塚製薬株式会社から、熱中症対策について情報提供がありました。

その後、清水隆一コーチングカレッジ株式会社代表清水隆一先生から、野球の指導者としての体験談や質問提案型の指導を取り入れ、選手の自発性や潜在能力を引き出す大切さの話がありました。また午後から、具体的な指導場面におけるコミュニケーションの取り方などについて、高校生の野球部員をモデルに実践指導を行いました。

受講者は、自分の競技の指導に生かそうと、真剣なまなざしで研修会に臨んでいました。



インフォメーション

日本体育協会公認スポーツ指導者研修会のお知らせ

日本体育協会公認スポーツ指導者は、その資格を更新するために最低4年に1度、義務研修会を受講する必要があります。(更新予定日の半年前までの受講)

今年度はあと1回研修会を開催します。更新予定日が2016年10月で、まだ義務研修会を受講していない方は、ぜひ受講をお勧めします。

第3回福島県
スポーツ指導者研修会

期日 平成28年1月31日(日)

締切 平成28年1月16日(土)

会場 郡山ユラックス熱海

問合せ先

福島県スポーツ指導者協議会
024-938-7649

HOTNET

「HOTNET」は
福島県のスポーツを応援するホームページです!

<http://www.sports-fukushima.or.jp>

E-mail: info@sports-fukushima.or.jp

(公財)福島県体育協会

〒960-8065 福島市杉妻町5番75号 福島県庁東分庁舎3号館

ふくしまから世界へ! 「ふくしま夢アスリート」育成支援事業

「ふくしま夢アスリート」とは、ふるさと福島への愛着心を持ち、福島県民に勇気と希望を届けられるよう、オリンピックをはじめとする世界の舞台での活躍が期待される有望な若手選手の皆さんです。2020年東京五輪の開催決定を契機に、昨年より支援事業が始まりました。

26年度からの継続39名に加え、27年度からの新規28名の選手が決定しました。また、世界を目指すトップコーチは26年度からの継続10名です。



平成 26 年度より継続夢アスリート (39 名)

山下 潤(陸上競技)	遠藤 日向(陸上競技)	布川 輝(陸上競技)	鈴木 顕人(陸上競技)
波田野瑠花(陸上競技)	小谷菜津美(ソフトテニス)	米山 芽玖(ソフトテニス)	鈴木沙弥香(ハンドボール)
佐原奈生子(ハンドボール)	服部 翼(水泳)	加藤 樹(水泳)	寺田 拓未(水泳)
安部翔一郎(水泳)	小松 桃子(水泳)	古賀 穂(バドミントン)	西 豊(バドミントン)
渡辺 勇大(バドミントン)	小林 大吾(バドミントン)	三橋 健也(バドミントン)	山澤 直貴(バドミントン)
筑後 恵太(バドミントン)	金子 真大(バドミントン)	大堀 彩(バドミントン)	東野 有紗(バドミントン)
川上紗恵奈(バドミントン)	仁平 菜月(バドミントン)	吾妻 咲弥(バドミントン)	高橋明日香(バドミントン)
由良なぎさ(バドミントン)	永井 瀬霧(バドミントン)	長谷部尚仁(スキー)	長谷部宏仁(スキー)
水澤 彩佳(スケート)	杉本 葵生(馬術)	近内 三孝(ウエイトリフティング)	佐藤 啓隆(ウエイトリフティング)
我妻翔比古(レスリング)	大河内未来(ボウリング)	小久保南海(カヌー)	

平成 27 年度より新規夢アスリート (28 名)

佐々木夢奈(陸上競技)	高橋 直生(陸上競技)	渡部 佳朗(陸上競技)	高橋 涼(ホッケー)
村上 真統(ボクシング)	佐々木陽菜(フェンシング)	佐藤 真春(フェンシング)	廣瀬 新(フェンシング)
水井ひらり(バドミントン)	福本真恵七(バドミントン)	久保田友之祐(バドミントン)	本田 大樹(バドミントン)
長正 憲武(トライアスロン)	北野 亮介(ソフトテニス)	鈴木 竜弥(ソフトテニス)	根本 拓哉(ソフトテニス)
檜山 遥斗(ソフトテニス)	守谷 善太(ソフトテニス)	齋藤 大樹(ソフトテニス)	志賀 秀登(相撲)
吉田 拓実(水泳)	瀧澤 秀斗(柔道)	渡邊 歩(自転車競技)	渡邊 祐希(自転車競技)
小玉 和寿(自転車競技)	水谷 有希(サッカー)	蛭田みな美(ゴルフ)	野地 裕太(カヌー)

指定トップコーチ (10 名)

篠原 宏和(ボクシング)	菊池由喜男(スケート)	長南 国彦(ウエイトリフティング)	今村 浩之(レスリング)
富本 栄次(ハンドボール)	坂本 幸司(ラグビーフットボール)	小久保英一知(カヌー)	蓮沼 哲哉(トライアスロン)
笠原裕二郎(アイスホッケー)	伊藤 丈(ボウリング)		

スタートダッシュミーティング

6月3日(水)、郡山市総合福祉センターにおいて、「ふくしま夢アスリート」スタートダッシュミーティングが開催されました。今年度新たに指定された「夢アスリート」(28名)を代表して、自転車競技の小玉和寿選手に指定証が交付され、「夢アスリート」(67名)を代表して、トライアスロン競技の長正憲武選手より力強い決意表明がありました。

シドニーオリンピック競泳日本代表の萩原智子氏より、「目標達成の極意 ～克己心～」という演題でご講演をいただきました。また、福島大学教授 白石豊氏、公立藤田病院 山崎有理子氏より講義も行われました。

「夢アスリート」は、この事業の目的を改めて確認するとともに、自らの夢の実現に向けて、この上ないスタートダッシュを切ることができました。



「ふくしま夢アスリート」ふれあい教室

平成27年4月19日(日)、10月10日(土)に県立田村高校において、夢アスリートの近内三孝選手と佐藤啓隆選手を招き、「ふくしま夢アスリート」ふれあい教室が開催されました。



「マルチサポート事業」メディカルチェック

7月から公立藤田総合病院において、「メディカルチェック」前期の部(7、8月の期間で実施)がスタートしました。内容は、診察、整形外科的メディカルチェック、コントロールテスト、栄養チェック、ドーピング抑止の啓蒙などに取り組みました。参加したアスリートは、自分の身体の特徴や補強すべき部分などを知ることができ、今後への意欲を高めることができました。後期は2、3月に実施の予定です。



「トップコーチ養成事業」基礎研修・課題解決研修

ふくしまから世界へ!「ふくしま夢アスリート」育成支援事業「トップコーチ養成事業」基礎研修が、平成27年5月26日(火)福島テルサにて行われました。講師には、全日本スキー連盟フリースタイル部ヘッドコーチの斗澤由香子先生(元フリースタイルスキーアクロ種目日本代表)をお招きして、選抜された県内トップコーチが参加しました。

また、平成27年9月3日(木)福島テルサにおいて、トップコーチ養成事業「第1回課題研修」が開催されました。研修会には指定を受けたトップコーチの他に、県内で活躍されている指導者の方々の参加のもと行われました。講師は福島大学教授、また福島県体育協会常務理事の白石豊先生です。「コーチとしてのコミュニケーションスキル」と題して講義をいただきました。

第2回課題解決研修については、平成27年11月10日(火)、福島テルサにおいて白石豊先生(福島大学教授、福島県体育協会常務理事)をお招きし、前回の内容から質疑応答を中心とした講義を行っていただきました。



スポーツ医事・ トレーニング相談事業の様子

この事業では、スポーツ愛好者や選手のけが・病気等に関する相談をはじめ、体力や種目の特性に応じたトレーニング処方を行い、健全なスポーツ活動の推進を図る目的として、依頼により、相談員・講師を派遣しています。相談員・講師は、本協会のスポーツ医・科学委員、スポーツドクター部会員、アスレティックトレーナー部会員、その他スポーツ医・科学委員会の認めた方が務めています。今年度は、11月までに延べ30名の相談員・講師を派遣しました。



①6月14日 大玉村スポーツ少年団

講義：「実践時におけるメンタルトレーニング」
講師：渡部琢也氏（会津大学短期大学部）

②8月18日 福島県ラグビーフットボール協会

講義：「ドーピング防止について」
講師：齊藤賢一氏（ふたば薬局藤田店）

③9月4日 FULLSPO

講義：「スポーツマッサージ講習会」
講師：松山弘幸氏（県体育協会認定AT）

④10月28日 田村地区中教研保健体育部

講義：「スポーツマッサージ」
講師：馬場俊輔氏（楓鍼灸治療室）

⑤11月5日 三河台小学校PTA

講義：「ストレッチ教室（運動不足解消）」
講師：二瓶敦志氏（ARCクリニック）

平成27年度（公財）福島県体育協会認定アスレティックトレーナースキルアップ講習会

昨年度まで養成講習会を行ってきましたが、今年度は83名いる福島県体育協会認定アスレティックトレーナーのスキルアップを図るために講習会を実施しました。

期 日 平成27年11月7日(土)～11月8日(日)

会 場 福島県青少年会館

AT部会長挨拶 吉田 仁郎先生(ARCクリニック)

講 師 【11月7日】

鬼澤 武則先生(おにざわ接骨院)①

小林 光幸先生(ラソラックス鍼灸整骨院)②

【11月8日】

佐藤 善嗣先生(福島県薬剤師会)③

山崎有理子先生(公立藤田総合病院)④

二瓶 敦志先生(ARCクリニック)⑤

内 容

本協会認定のアスレティックトレーナーの中から約20名の受講者を対象に、2日間にわたり講習会が行われました。けがの応急処置、スポーツテーピング、コンディショニングトレーニング・ストレッチ、スポーツマッサージ、ドーピング防止、スポーツと栄養、用具を使用したトレーニングなどについての講義・実技を通してスキルアップに努めました。受講者は資質向上に努めようと講義中はもちろん、講義後も講師の先生に質問するなど真剣に取り組んでいました。

今後はアスレティックトレーナー部会の活動や研修会等を通して、情報の提供・交換・共有を図り、競技力の向上や生涯スポーツの振興に結び付けていきたいと思っております。

養成講習会とスキルアップ講習会を隔年で実施していく予定です。



うつくしま広域スポーツセンター

平成27年度うつくしま総合型スポーツクラブユニオン自主事業研修会

平成27年11月7日(土)、二本松市岳温泉「陽日の郷 あづま館」を会場として、平成27年度うつくしま総合型スポーツクラブユニオン自主事業が開催されました。研修会では、東京海上日動火災保険株式会社 大内邦生氏より「クラブ運営に係わるリスクマネジメント」に関して情報提供をしていただきました。続いて、特定非営利活動法人たみみコミュニティクラブ ゼネラルマネジャー平山康夫氏より、「これからのユニオンが目指すもの」と題して講義がありました。平山氏の講義を受けて、グループディスカッションが行われ、参加者が県ユニオンとして取り組むべき事業について意見交換を行いました。ユニオンの現状を踏まえ、今後のユニオンの方向性について様々な意見が出されました。グループディスカッション後半では、「東京オリンピック・パラリンピック」に向けた事業について、ユニオンとして取り組んでいきたい内容等を話し合いました。情報提供、講義はもちろん、グループディスカッションでも建設的な意見が数多く提案されました。それらを今後のユニオンの事業に反映させていきたいと思いをします。



大内氏による情報提供
事例をもとに説明していただきました。

平山氏の講演
ユニオンの方向性についてさまざまな視点を与えていただきました。

グループディスカッション
活発な意見交換が行われました。



平成27年度うつくしま総合型スポーツクラブユニオン交流事業

2日目は、「秋を楽しもう ウォーキング交流会」を岳温泉周辺ウォーキングコースで開催しました。本交流会は県北ユニオンが中心となって運営されました。当日はあいにくの雨模様でしたが、184名の参加者が自分の体力に応じて4.5km、11kmコースに分かれ、紅葉が鮮やかな岳温泉の雄大な自然を満喫しました。参加者は、普段は交流できない方々とも会話を楽しみながらウォーキングに取り組み親睦を深めました。また、終了後には、おいしい豚汁が振る舞われました。体を動かした後の豚汁の味は格別でした。さらに、温泉割引券も配布され、疲れた体を温泉で癒す参加者も数多くいました。事務局として、大会成功に向けて準備・運営にご尽力いただきました県北ユニオンの皆様、大変ありがとうございました。



ウォーキングの様子です。

参加者全員での記念撮影です。

みんなでつくる総合型！ 総合型地域スポーツクラブ

NPO法人 広野みかんクラブ

当クラブは、総合型地域スポーツクラブとして広野町に発足し、平成26年3月25日にNPO法人格を取得しました。

子どもから大人までを対象に、楽しみながらスポーツができる環境づくりを目指しています。定期スポーツ教室や、クラブチーム運営の他に、初心者の方でも参加できるよう工夫し、各種スポーツ大会(MIKANカップ)も実施しています。

(定期教室)

- ・フットサル教室
- ・ティーボール教室
- ・親子テニス教室
- ・かけっこ教室
- ・バレーボール教室

(大会)

- ・バレーボール大会
- ・フットサル大会
- ・ソフトボール大会
- ・野球大会
- ・バドミントン大会
- ・パークゴルフ大会

(サークル)

- ・フットサルサークル
- ・バドミントンサークル
- ・卓球サークル

(クラブチーム)

- ・少年野球部
- ・少年サッカー部
- ・少年剣道部
- ・野球部
- ・サッカー部
- ・フットサル部
- ・テニス部
- ・バレーボール部
- ・グラウンド・ゴルフ部
- ・剣道部
- ・空手道部



少年サッカー部



ティーボール教室



ティーボール教室



かけっこ教室



かけっこ教室



少年野球部



MIKANカップフットサル大会



親子テニス教室



フットサル教室

お問い合わせ先

NPO法人広野みかんクラブ
〒979-0408
福島県双葉郡広野町中央台 1-1
電話：0240-27-1234 FAX：0240-27-2015
Email mikan-club@alpha.ocn.co.jp
公式 Facebook <https://www.facebook.com/mikan.club>

広域スポーツ センター

「総合型地域スポーツクラブ」の創設、育成、定着を支援します。お気軽にご連絡ください。

うつくしま広域スポーツセンター (県体育協会事務局内)

〒960-8065 福島市杉妻町5番75号福島県庁東分庁舎3号館
<http://www.u-kouiki.jp/USC.html>
E-mail: utsukushima@u-kouiki.jp

TEL 024-526-4680 FAX 024-526-4681

浜通り広域スポーツセンター (いわき市民プール管理棟内)

〒970-8032 いわき市平下荒川字南作101
<http://www.u-kouiki.jp/USC.html>

TEL 0246-29-8608 FAX 0246-29-8608

(公財)福島県体育協会賛助会員名簿

～私たちは福島県のスポーツ振興を支援します～

《法人・団体特別会員》

東亜道路工業(株)福島営業所
(有)カネチョウ坂本商店
(株)環境分析研究所
福島県信用保証協会
福島テレビ(株)
(一財)ふくしま未来研究会
(福)創世福祉事業団
(株)久野製作所

クリヤマ(株)仙台営業所
福島県ゴルフ連盟
(株)テレビユー福島
福島県商工信用組合
クリナップ(株)いわき事業所
(株)東邦銀行
(公財)仁泉会
福島県議会スポーツ振興議員連盟

エクセルツリー(株)
福島県旅館ホテル生活衛生同業組合
(株)セントラル住設
(株)ダイユーエイト
(株)エアコレクト
東北建設(株)
(株)ヨークベニマル

《法人・団体会員》

大大邦産業(株)
(有)古川瓦建材
野田陸上クラブスポーツ少年団
みずの内科クリニック
(公財)藤田教育振興会
菅野建設(株)
キング印刷(株)
クレハ錦建設(株)
月電工業(株)
福島ヤクルト販売(株)
(株)日産サティオ福島
北斗印刷(株)
(株)NIPPO福島統括事業所
堀江工業(株)
(株)福島中央テレビ
(株)クレハ環境
(株)三宅新聞店
キョウワセキュリティ(株)
福島県立医科大学器官制御外科学講座
(有)大波商店
関場建設(株)
福島キャノン(株)
(株)幸楽苑
入三機材(株)
(株)サンライト
(株)グレイス福島
あんしんFPふおあさいと
にいの運送(有)
(株)丸や運送
若松測量設計(株)
(株)絹川建設工業
(株)岡部
(株)丸福織物

(有)挽野自動車
(株)高橋建設
(株)山口工芸
(株)佐藤信博建築設計事務所
東信建設(株)
福島県信用金庫協会
第一温調工業(株)
(株)セルラー電話サービス福島
(株)クラロン
福浜大一建設(株)
(株)東北装美
(株)ル・プロジェクト
(株)モリヨシ技研
(株)海老名建設
FSGカレッジリーグ
(株)ユアテック福島支社
(株)福島製作所
東北電力(株)福島営業所
(株)ファミリーケア
(株)旭電化
(有)おりおり
(一財)大原綜合病院
東栄物産(株)
(株)グラコム
(株)ヤスタ創建
(株)善邦
(株)安藤組
(株)アスク
(株)エムケーテック
(株)佐藤商事
富士ゼロックス福島(株)
ワイジエール(株)
(株)藤野

(株)フジゴルフガーデン
ふくしま陸上スポーツ少年団
(有)吾妻印刷
川俣貨物(株)
大宝建設(株)
(株)ウエディングエルティ
磐城通運(株)
名鉄観光サービス(株)福島支店
(株)福南電気
東北索道協会福島地区部会
江花建設(株)
(有)エンドースクリーン
小名浜製錬(株)小名浜製錬所
福島日産自動車(株)
月電ソフトウエア(株)
(株)クレハ生産本部いわき事業所
ワタナベカーペット(株)
(株)メディア・ネットワーク
内池醸造(株)
タカラ印刷(株)
(株)福島放送
(株)友愛
(有)佐平
六陽印刷(株)
原町港湾運送(株)
(株)アポロガス
(有)野地建設
(株)マルコ物流
(株)アクセラ関根
山田建築(株)
小勝左官工業(株)
福島訪問歯科医院
福島トヨタ自動車(株)
※他に匿名希望 6(法人・団体)

《個人特別会員》

御代田 公 男 山 本 和 子

《個人会員》

小杉 誠	八 卷 一 夫	加 藤 誠 一	伊 藤 隆 司	柴 野 照 夫	松 本 裕 治
高 倉 好 博	坂 本 孝 夫	水 戸 眞 由 子	佐 藤 俊 一	野 村 浩 一	遠 藤 均
村 喜 八 郎	安 藤 正 幸	崎 田 豪 一	砂 子 田 敦 夫	北 村 石 家	田 田 豊 秋
深 谷 秀 三	穴 正 正 幸	森 野 豪 一	老 岐 ひろみ	平 井 治 一	大 国 井 裕 一
片 平 俊 夫	小 松 信 之	渡 邊 正 仁	佐 藤 昌 志	永 井 祥 一	荒 川 信 郎
堀 田 満 夫	小 富 田 孝 志	永 井 隆 太 郎	結 城 勝 夫	佐 久 間 光 弘	菅 野 日 出 喜
鈴 木 義 祐	福 本 隆 吉	廣 瀬 敬 彦	佐 藤 誠 男	石 田 博 一	菅 野 五 十 嵐
櫻 井 和 朋	安 齋 常 吉	阿 部 正 美	齋 藤 久 誠	長 岐 博 一	佐 藤 十 次
星 本 文	鈴 木 千 賀 子	佐 藤 祀 男	紺 野 正 吉	花 井 宣 明	渡 辺 正 吉
松 井 遵 一 郎	篠 木 敏 明	佐 藤 と も 子	下 山 田 好 宏	福 田 順 一	※他に匿名希望4(名)

(平成26年12月1日～平成27年11月30日)(順不同・敬称略)

賛助会員加入のお願い

本協会では、県民の皆様からのご支援により本県スポーツの推進を目的とする事業にご賛同いただける賛助会員の募集を年間を通して行っております。
皆様におかれましては、趣旨をご理解のうえ、賛助会員としてご入会いただき、本県スポーツの推進の一層のご支援を賜りますようお願いいたします。

賛助会費(年会費)

○個人賛助会員
1口 10,000円(1口以上何口でも可)
○法人・団体賛助会員
1口 10,000円(1口以上何口でも可)
※個人会員は3口以上、法人・団体会員は5口以上で特別会員となります。
詳しくは、本協会ホームページをご覧ください。

問い合わせ先

〒960-8065 福島市杉妻町5番75号
公益財団法人 福島県体育協会
電話 024(521)7896
FAX 024(521)7971
E-mail
info@sports-fukushima.or.jp

編集後記

第70回国民体育大会では、陸上競技、ウエイトリフティング競技、馬術競技の個人で、またバドミントン競技では団体でそれぞれに優勝という素晴らしい成績を収めました。その他にも多くの競技団体で入賞を果たすなど、県民を大いに元気づける結果となりました。
これからも県民の皆様にはスポーツの明るい話題を提供できるよう努力してまいりますので、ご愛読のほどよろしくお願い申し上げます。

まかせて安心



傷害保険

賠償責任保険

突然死葬祭費用保険

スポーツ安全保険



対象となる事故

団体活動中の事故 / 往復中の事故

保険期間

平成27年4月1日午前0時から平成28年3月31日午後12時まで
(申込受付は平成27年3月から)

加入区分・掛金・補償額 団体活動を行う5名以上の方々でご加入ください。加入区分は加入者ごとにご選択ください。

加入対象者	補償対象となる団体活動	加入区分	年間掛金 (1人当りの)	傷害保険金額				賠償責任保険 支払限度額 (免責金額なし)	突然死葬祭 費用保険 支払限度額
				死亡	後遺障害 (傷高)	入院 (日額)	通院 (日額)		
子ども 中学生以下 特別支援学校 高等部の 生徒を含む。	スポーツ活動 文化・ボランティア・地域活動	A1	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	対人・対物賠償 合算1事故5億円 ただし、対人賠償は1人1億円 対人・対物賠償 合算1事故5億500万円 ただし、対人賠償は1人500万円 対人・対物賠償 合算1事故500万円	突然死 (急性心不全 脳内出血など) 葬祭費用 180万円 対象外
	上記団体活動に加え、個人活動も対象 AW区分の特徴：個人活動・個人練習なども補償の対象となります。 上段：団体活動中およびその往復中の補償額 下段：上記以外(個人活動など)の補償額	AW	1,450円	100万円	150万円	1,000円	500円		
大人 高校生以上 65歳以上 の方も加入 できます。 65歳 以上	文化・ボランティア・地域活動、団体の送迎、応援、準備、片付け ※スポーツ活動を行う場合は対象となりません。	A2	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	対人・対物賠償 合算1事故5億円 ただし、対人賠償は1人1億円 ◆自動車事故によって賠償責任 を負った場合は、補償の対象 となりません。	突然死 (急性心不全 脳内出血など) 葬祭費用 180万円
	スポーツ活動 スポーツ活動の指導・審判	C	1,850円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
	子どもへのスポーツ活動の指導・審判 ※C区分でも加入可	AC	1,300円	1,000万円	1,500万円	2,500円	1,000円		
65歳以上	スポーツ活動 ※C区分でも加入可 ※スポーツ活動を行わない場合はA2区分	B	1,000円	600万円	900万円	1,800円	1,000円		
全年齢	危険度の高いスポーツ活動	D	11,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円		



携帯電話から資料請求ができます。

スポーツ安全協会 検索
インターネットからも加入受付を行っております。詳しくは、ホームページをご覧ください。

公益財団法人 スポーツ安全協会 福島県支部

〒960-8065 福島市杉妻町 5-75 福島県庁東分庁舎 3号館 TEL024-526-4600 電話受付時間：午前9時～12時、午後1時～5時(土、日、祝日を除く。)

保険の詳細内容・資料の請求は、ホームページをご覧ください。

<http://www.sportsanzen.org>

●資料請求は、インターネットより受付けております。

この広告はスポーツ安全保険(スポーツ安全保険特約書に基づく傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険特約・スポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)・突然死葬祭費用担保特約付普通傷害保険)、賠償責任保険(スポーツ安全協会賠償責任特約付帯施設賠償責任保険及びスポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)付普通傷害保険賠償責任担保条項))の概要についてご紹介したものです。ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらし」および「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款および特約書によりますが、ご不明の点がございましたら(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)までお問い合わせください。

(引受幹事保険会社)
東京海上日動火災保険株式会社(担当課)公務第2部公務第1課
TEL 03-3515-4133(平日 9:00~17:00)
(共同引受保険会社(平成27年4月予定))
あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン日本興亜 大同火災 東京海上日動
日新火災 富士火災 三井住友海上